



Artworks from the Animation Films of Tadanari Okamoto

2004年

4月6日(火) → 6月27日(日)

7月6日(火) → 8月29日(日)

東京国立近代美術館
フィルムセンター展示室

開室時間：午前11時—午後6時30分
(入場は午後6時まで)

休室日：毎週月曜日および
6月28日(月)—7月5日(月)

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター

特別協力：株式会社エコー

協力：保坂純子／(株)桜映画社／ジェネオン
エンタテインメント(株)／(株)紀伊國屋書店



造形作品でみる

岡本忠成

アニメーションの世界

出品リスト



ごあいさつ

手作りによる個性豊かな短篇作品の製作により、我が国におけるアニメーションの歴史に大きな足跡を残した岡本忠成。

その作品世界の魅力は、変化に富んだ素材や技法と切り離して語るできません。荒々しい木彫りの人形を使った「おじいちゃんが海賊だった頃」(1968)、絵馬の様式を取り入れた杉板による「南無一病息災」(1973)や柔軟な毛糸による「あれはだれ?」(1976)などの半立体作品、そして張り子の質感を生かした「おこんじょうり」(1982)まで、一作ごとにそれまでとは異なる表現様式に挑むという映画作りのポリシーは他に例を見ないものであり、全ての作品が良質のエンターテインメントでありながら、常にアニメーションの持つ本源の力と可能性を問いかけてきます。

本展では、(株)エコーの設立より岡本作品を支え続けた人形作家・保坂純子氏の協力を得て、実際の映画製作で用いられた造形作品の数々を展示・公開します。第一作「ふしぎなくすり」(1965)から遺作となった「注文の多い料理店」(1991)までの道のりを、完成作品のクリップとの比較などを交えてたどりながら、アニメーションの創造の秘密に触れていただければ幸いです。

2004年4月

東京国立近代美術館フィルムセンター

* 本展の開催にあたっては標記のほかに、下記の団体・個人よりご支援を賜りました。
記して感謝いたします(五十音順・敬称略)。

(株)学習研究社	おかだえみこ
(株)電通テック	岡本さと子
東映(株)教育映像部	篠原義浩
日本放送協会	田村実 長崎希 山本真由美 若佐ひろみ

凡例:

- ・本リストは、出品関連作品(映画作品)のクレジット情報を記載したものです。会場内の展示品やこれに関わるスタッフの情報は太字で表しています。
- ・本リストと会場内での配列順序は一致していない場合があります。
- ・出品内容は止むを得ず変更される場合があります。

発行・著作: 東京国立近代美術館©
〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1
TEL 03-3214-2561

編集: 東京国立近代美術館フィルムセンター
〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6
TEL: 03-3561-0823

制作: 印象社

発行日: 2004年4月6日

『ふしぎなくすり』(1965年)

▶人形(木、ビニール、皮[衣裳])

企画・制作:電通映画社
協力:エコー社
原作:星新一「盗んだ書類」(朝日新聞日曜版掲載)より
制作・脚本:村治夫
演出・アニメーション:岡本忠成
アニメーション:岡哲太郎、マガリ文子
人形:田畑精一、保坂純子
音楽:真鍋理一郎
撮影:吉岡謙
照明:野村隆三
編集:永江恒夫
装置:三五了、斉藤美喜雄、斉藤堅
進行:安陪文彦

『ようこそ宇宙人』(1966年)

▶人形(木、プラスチック、紙)

企画・制作:電通映画社
協力:エコー社
原作:星新一「夜の事件」(朝日新聞掲載)より
製作・脚本:村治夫
演出・アニメーション:岡本忠成
アニメーション:及川功一、マガリ文子
人形造形:田畑精一、保坂純子
撮影:吉岡謙
照明:野村隆三
装置:北村剛志、永沼宗夫
進行:安陪文彦、上原隆藏
音楽:廣瀬量平
舞踏振付:関谷幸雄
編集:永江恒夫、坂間雅子
録音:伊藤一男
声の出演:[ロビン]真理よし子、
[マック]明石一、[キル星人A]香山裕、
[キル星人B]緑川稔、[F博士]滝口順平、
[ボン]白石冬美

『キツツキ計画』(1966年)

▶半立体(木)

企画・制作:電通映画社
協力:エコー社
原作:星新一(朝日新聞掲載)
制作・脚本:村治夫
演出・アニメーション:岡本忠成
アニメーション:及川功一
人形造形:田畑精一、保坂純子
撮影:吉岡謙



『キツツキ計画』(1966)

照明:山下吉三
美術:高田耕三、清水幸隆
進行:上原隆藏
音楽:廣瀬量平
録音:伊藤一男
編集:永江恒夫、坂間雅子
声の出演:[ドロン]中村正、
[アナウンサー]近石真介

うたのシリーズ1

『十人の小さなインディアン』(1968年)

▶人形(木、ゴム、毛皮[づら])

企画・制作:株式会社エコー
協力:電通映画社
脚本・演出:岡本忠成
アニメーション:岡本忠成、及川功一、
上原隆藏、見米豊
撮影:吉岡謙
照明:野村隆三
人形:田畑精一、保坂純子
編集:相沢尚子、坂間雅子
音楽:来宮洋一
唄:ポーカルショップ
効果:東京効果工房
録音:銀座スタジオ
協力:足立明

うたのシリーズ2

『おじいちゃんが海賊だった頃』(1968年)

▶人形(木、布[衣裳])

企画・制作:株式会社エコー
協力:(株)電通映画社、日本コロムビア株式会社
作詩:宮沢章二
作曲:横山菁児
歌:世良朋芳、杉並児童合唱団
脚本・演出:岡本忠成
人形:田畑精一、保坂純子
アニメーション:及川功一、岡本忠成
撮影:吉岡謙
照明:野村隆三
装置:中川涼、北村剛志
編集:相沢尚子
効果:山崎宏
進行:市東宏志
協力:永江良一郎(電通映画社研究室)、
木村英俊(コロムビア)、足立明(ALCA)、坂
間雅子(脚本)



『おじいちゃんが海賊だった頃』(1968)

うたのシリーズ3

『ホーム・マイホーム』(1970年)

▶半立体(紙)

作詩:香山美子
作曲:横山菁児「もぐらときつねとあかさたな」より
歌:熊倉一雄、真理ヨシ子
脚本・演出:岡本忠成
人形:保坂純子
装置:小前隆、徳山正美
アニメーション:田畑博司、真賀里文子
撮影:吉岡謙、田村実
編集:園尚子
進行:来道子
企画・制作:株式会社エコー
協力:日本コロムビア

『花ともぐら』(1970年)

▶人形(プラスチック[モグラ])

原作:星新一作、和田誠画「花とひみつ」より
制作:原正次
制作担当:神保まつえ
脚本・演出:岡本忠成
脚本:坂間雅子、来道子
ナレーション:岸田今日子
アニメーション:見来豊、真賀里文子、及川功一
動画:秦泉寺博
人形:田畑精一、保坂純子、斉藤堅
音楽:廣瀬量平
撮影:吉岡謙、田村実
照明:内田和巳、栗田崇
装置:小前隆、徳山正美、数藤雅三
花:村瀬純子
編集:園尚子
録音:甲藤勇
記録:仲谷光男、柳沢美和子
タイトル:田村実
協力:高橋澄夫

『チコタン ぼくのおよめさん』(1971年)

▶セル(ネオカラー、ポスターカラー、クレヨン)

企画・制作:原正次
制作担当:神保まつえ
作曲:南安雄
作詩:蓬萊泰三
歌:西六郷少年少女合唱団(日本コロムビアレコード「チコタン」より)



「日本むかしばなし さるかに」(1972)

アニメーション:真賀里文子、秦泉寺博、及川功一

撮影:吉岡謙、田村実
美術:小前隆、徳山正美、数藤雅三
編集:園尚子
脚本:岡本忠成、坂間雅子、来道子、田村実
協力:田畑精一
現像:東洋現像所
演出:岡本忠成

『日本むかしばなし さるかに』(1972年)

▶人形(木、皮、布[衣裳])

制作:原正次
企画:石川茂樹
制作担当:神保まつえ
アニメーション:真賀里文子、見来豊
人形:田畑精一、保坂純子、数藤雅三
装置:小前隆、徳山正美、若佐ひろみ、東川洋子
音楽:廣瀬量平
撮影:吉岡謙、田村実
照明:野村隆三
録音:甲藤勇
編集:園尚子
効果:神山雄吉
声の出演:(東京演劇アンサンブル)入江洋佑、木村楓、新井和夫、鎗田順吉、大森孝、采野圭子、桜井ゆう子
原作:木村次郎
脚本・演出:岡本忠成

『モチモチの木』(1972年)

▶半立体(和紙)

企画・制作:株式会社エコー
アニメーション:藤森誠代、尾崎良、岡本忠成
人形:保坂純子、若佐ひろみ、数藤雅三
背景:小前隆、徳山正美
撮影:吉岡謙、田村実
編集:園尚子
録音:甲藤勇
進行:東川洋子
現像:東洋現像所
作曲・演奏:鶴澤清治
語り:豊竹呂大夫
原作:斎藤隆介
脚本・演出:岡本忠成



「モチモチの木」(1972)

『南無一病息災』(1973年)

▶半立体(杉板)

企画・制作:株式会社エコー
原作:斎藤隆介
アニメーション:荒木靖一、藤森誠代、秦泉寺博
撮影:吉岡謙、田村実
背景:小前隆、徳山正美
人形:保坂純子、数藤雅三、若佐ひろみ
録音:甲藤勇
作詩:岡本忠成
作曲・歌・語り:及川恒平
演奏:及川恒平、中川昌三、村上律、中島御
音楽プロデュース:大森昭男
編集:相沢尚子、坂間雅子
助手:笹井隆、峰岸裕和、辰巳知子
制作進行:東川洋子
協力:廣瀬量平、丸岡征也
脚本・演出:岡本忠成

人間いじめシリーズ1

『旅は道連れ世は情』(1973年)

▶セル(イラストマーカ)

はなし:桂朝丸
作・演出:岡本忠成
アニメーションデザイナー:秦泉寺博、荒木靖一
作画:小前隆、徳山正美
撮影:吉岡謙、田村実
録音:甲藤勇
編集:相沢尚子、坂間雅子
制作進行:東川洋子
協力:指田英二、吉田悟
企画・制作:株式会社エコー

『小さな五つのお話』(1974年)

「おしり」
▶セル(ネオカラー、ポスターカラー、クレヨン)
「かくれんぼ」 ▶人形(布)

企画・制作:株式会社エコー
原作:東君平、岡本忠成
アニメーション:秦泉寺博、吉良敬三、尾崎良
人形美術:保坂純子、若佐ひろみ
美術:小前隆、若井文児、安部みつ子、徳山正美、数藤雅三、田村幸子、森田隆、浅井春樹
動画作画:吉田悟、今中誠、山崎共子、



「南無一病息災」(1973)

山野以美子、大向とき子、戸川美智子、横坂千鶴子

作曲:クニ河内
音楽プロデュース:大森昭男
効果:神山雄吉
録音:甲藤勇
編集:相沢尚子
制作進行:東川洋子
語り:岸田今日子
撮影:田村実
協力:不二アートフィルム、東洋現像所、佐藤精、撫養慎平、山崎宗次
演出:岡本忠成

『水のため』(1975年)

▶半立体(布[水綿・ローテツ染])

アニメーション:藤森誠代、尾崎良、秦泉寺博、荒木靖一、吉田悟、峰岸裕和、大向とき子
撮影:田村実
人形:保坂純子、若佐ひろみ、石井寿美江
背景:小前隆、徳山正美、指田英二、横坂千鶴子、細川千枝子、大中裕子
編集:相沢尚子
録音:甲藤勇
進行:東川洋子
協力:岡田英美子
語り:岸田今日子
作曲:廣瀬量平
音楽制作:大森昭男
採話:松谷みよ子(山形伝説「水のため」より)
脚本・演出:岡本忠成

NHKみんなのうた

『オナカの大きな王子さま』(1975年)

▶セル(イラストマーカ)

作詩・作曲:小椋佳
歌:川津恒一
アニメーション:秦泉寺博、吉田悟、指田英二、峰岸裕和
美術:小前隆、山野以美子、大向とき子
撮影:田村実
編集:相沢尚子
進行:東川洋子
録音:金沢孝年
脚本・演出:岡本忠成
企画:NHK、湊剛
制作:NHK、株式会社エコー



「旅は道連れ世は情」(1973)

『あれはだれ?』(1976年)

▶半立体(毛糸)／再制作

制作:もぎまさとし、おかもとただなり
企画・配給:エコー、日本記録映画研究所
原作:東君平「おはようどうわ」より
脚本・演出:おかもとただなり
語り:きしだきょうこ
作曲:ひぐちやすお
音楽制作:おおもりあきお
アニメーション:おざきりょう、ふじもりまさよ、
よしださとる、みねぎしひろかず、
おおむかいときこ

人形:ほさかすみこ

美術:こまえたかし、とくやままさみ
撮影:たむらみのる
録音:かっとういさむ
編集:あいざわひさこ
進行:ひがしかわようこ

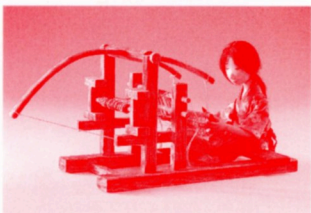
『ちからばし』(1976年)

▶人形(木、ゴム[手足]、布[衣裳])

アニメーション:尾崎良、峰岸裕和、
大向とき子
美術:小前隆、徳山正美
人形:保坂純子
撮影:田村実
編集:相沢尚子
語り:岸田今日子(豊竹呂大夫の版もあり)
作曲・三味線:鶴澤清治
笛:中川善男
打楽器:藤倉成敏
録音:甲藤勇
効果:高橋徹
進行:東川洋子
タイトル:斎藤丹鶴
現像:東洋現像所
原作:小泉八雲(「梅津忠兵衛」より)
脚本・演出:岡本忠成
企画・制作:株式会社エコー



「ちからばし」(1976)



「虹に向って」(1977)

人間いじめシリーズ3

『サクラより愛をのせて』(1976年)

▶セル(イラストマーカ)

アニメーションデザイン:吉田悟
作画:東川洋子
撮影:田村実
録音:甲藤勇
編集:相沢尚子
作・演出:岡本忠成
語り:桂朝丸
企画・制作:株式会社エコー

『虹に向って』(1977年)

▶人形(木、布)

企画:貯蓄増強中央委員会
制作:電通、電通映画社
制作担当:エコー社、西尾豊
原作:大川悦生
脚本:永倉薫平、東川洋子、岡本忠成
アニメーション:藤森誠代、峰岸裕和、
秦泉寺博、大向とき子、横田由美子
美術:小前隆、徳山正美、横坂千鶴子、
鯨井実
人形:保坂純子、阿彦よし子、石井寿美江
進行:南波千浪
撮影:田村実
編集:相沢尚子
録音:甲藤勇
語り:岸田今日子
振付:佐藤三郎
題字:斎藤丹鶴
協力:横山篤美、岡田英美子、小林清司
現像:東洋現像所
作曲・歌:及川恒平
演奏:(ペーパーランド)本田修二、幸田実、
中富雅之、三橋貴風
演出:岡本忠成

『鬼がくれ山のソバの花』(1979年)

▶セル(パテ、墨汁、ポスターカラー)

企画:貯蓄増強中央委員会
制作:電通、電通映画社
担当:エコー社、西尾豊
音楽:半田淳子、赤尾三千子、堅田啓輝、
中川善雄、望月太喜雄
唄:及川恒平
美術:小野沢節子、川下倫子、村山純子、
岡田ひろみ
アニメーション:河田章子、長崎希、
成川裕子、高木みえ子、吉田悟、指田英二、



「白い象」(1981)

桜井利行、秦泉寺博、若佐ひろみ、

渡辺高志、横川たか子

彩色仕上：横山応子、田辺美登利、
酒井優子、鳴脇みえ子、横坂千鶴子、
渡辺静子、横田由美子、船橋啓子、
渡辺雅子、宮尾由紀、岸田香代子、
柳本孝子

点検：坂口としえ、杉山ゆづ

進行：南波千浪

撮影：田村実、宮沢みきお

振付：佐藤三郎

録音：甲藤勇

効果：高橋敏

編集：相沢尚子

原作：小暮正夫

脚本：永倉薫平、東川洋子、岡本忠成

語りと声：長岡輝子、岸田今日子、館田順吉

演出：岡本忠成

仕上・協力：藤野雅子、西山章子、
小林清司、岩本博之、渡辺純夫、岡田和子、
橋本寿、野村道子、生野涼介、
早矢仕昌代、川島玲子

『忘れられた人形』(1980年)

▶セル(ネオカラー、クレヨン)／人形／実写

企画：日本記録映画研究所

制作：茂木正年、エコー社

脚本・演出：岡本忠成

アニメーション：吉田悟、指田英二、

藤野雅子、河田章子、成川裕子、

横川たか子

人形：保坂純子、阿彦よし子

美術：小野沢節子、川下倫子、村山純子

音楽：小森昭宏

録音：甲藤勇

効果：織田晃之祐

撮影・照明：田村実、高岩仁、森礼路、

江原正雄

出演：佐藤真知子

声の出演：高橋ひろ子、久保洋子

彩色仕上：酒井優子、横山応子、

田辺美登利、鳴脇みえ子、柳本孝子

編集：相沢尚子

進行：南波千浪、中島佳子、原博徳、

岡部るみ子、木村文男

『白い象』(1981年)

▶半立体(布、皮、木)

原作：花園大学作「大きな象」より

企画：霊友会

制作：東映教育映画部、エコー社

プロデューサー：布村健

アニメーション：吉田悟、長崎希、渡辺雅子、

中島佳子

背景・小道具：小野沢節子、川下倫子、

岸田香代子、村山純子、渡辺静子

人形美術：保坂純子、阿彦勝久、

阿彦よし子、若佐ひろみ、石井寿美江、

横山応子、指田英二、横坂千鶴子

撮影：神部彰、飯田つとむ

録音：甲藤勇

編集：相沢尚子

進行：南波千浪

現像：東洋現像所

語り：岸田今日子、草野大悟

音楽：廣瀬量平

脚本：東川洋子、岡本忠成

演出：岡本忠成

『おこんじょうり』(1982年)

▶人形(紙[張り])

▶セル(ハテ、墨汁)

原作：さねとあきら

脚本・演出：岡本忠成

アニメーション：藤森誠代、長崎希、

吉田悟、渡辺雅子、中島佳子、横川たか子

人形：保坂純子、阿彦よし子、佐野吉紀

背景：若佐ひろみ、三澤博道、渡辺静子

撮影：田村実、伊丹邦彦

録音：甲藤勇

編集：相沢尚子

語り・声：長岡輝子、小野寺かほる、

木村富徳、後藤哲夫

唄：曾我マミ

作詩：東川洋子

作曲・演奏：高橋祐次郎、堅田喜三久、

中川善雄

振付：藤間蔵人

作画・仕上：横坂千鶴子、柳本孝子、

黒田直美

協力：平井孟

現像：東洋現像所

制作：(桜映画社)村山英世、花崎哲、

(エコー社)岡本忠成、南波千浪

『注文の多い料理店』(1991年)

▶セル(アクリルガッシュ)

原作：宮澤賢治

音楽：廣瀬量平

美術：川下倫子、小野沢節子、徳山正美

撮影：高橋明彦、中出三記夫

照明：佐藤謙

作画：奥山玲子、阿部信子、吉良敬三、

吉田悟、横川たか子、宮林英子、大宅光子、

神部環、田代和男、保田克志、香川浩、

木村光宏、香川節子、和久井泰宏、

秦泉寺博、鈴木伸一

仕上：横坂千鶴子、鳴脇みえ子、金廣勝、

松尾恵理子、鈴川香緒里、船橋啓子、

中川まり

録音：甲藤勇

効果：神山雄吉、MUSIC FACTORY

編集：守随房子

ネガ編集：相沢尚子

現像：IMAGICA

録音スタジオ：東京テレビセンター、アパコス

スタジオ

振付：村田大

演出助手：篠原義浩

協力：阿彦勝久、阿彦よし子、中川涼、

喜多京子、神部彰、三浦豊作、田村実、

長崎希、関隆文、岡本洋平、栗林菊夫、

保坂純子、南波千浪

日本芸術文化振興基金助成作品

企画・制作：(エコー社)岡本さと子、

(桜映画社)福岡順子

監修：川本喜八郎

脚本・演出：岡本忠成

『ほたるもみ』(テスト撮影/1986年)

▶人形(オープンクレイ[頭]、
ラテックス[手足]、布[衣裳])

原作：松谷みよ子「おときとつねと栗の花」より

脚本・演出：岡本忠成

撮影：田村実

人形：若佐ひろみ

関節：田村実

アニメーション：藤森誠代、長崎希

美術：川下倫子

進行：篠原義浩

表紙：

上：「おしいちゃんか海賊だった頃」(1968)

下2点：「おこんじょうり」(1982)



岡本忠成(1932-1990)

大阪大学法学部を卒業後、2年間の会社勤務を経て、日本大学芸術学部でアニメーション制作を学ぶ。持永只仁のMOMプロでアニメーターとして経験を積んだ後、1964年には株式会社エコーを設立。以後は短篇人形アニメーションを中心に自らプロデュースと演出を手がける。平面、立体、半立体を自在に使分け、木、皮、布、毛糸、紙、粘土、プラスチック、金属、発泡ウレタン、杉板、張り子など一作ごとに異なる素材と技法を用いている。「ホーム・マイホーム」(1970)のほか「うたのシリーズ」3作品(1968-70)、「NHKみんなのうた」シリーズ6作品(1975-86)、節の付いた語りと歌で全篇が構成される「南無一

病息災」(1973)、三味線を用いた「ちからばし」(1976)、そして婆さまと狐のおこんの浄瑠璃が物語の鍵になる「おこんじょうり」(1982)など、音楽がBGM以上の重要な役割を果たしているのも大きな特徴である。1972年からは川本喜八郎と組み、両者のアニメーション作品とパペットショウを組み合わせた「パペット・アニメーション」を開催。6年間継続して、人形アニメーションの社会的認知に大きく貢献した。1990年の急逝後、未完のままに残された「注文の多い料理店」は盟友川本の手で仕上げられた。その作品はときに鋭い批判精神を垣間見せつつも温かみにあふれ、死後も再評価の声は高まるばかりである。



「おこんじょうり」(1982)



「注文の多い料理店」(1991)キャラクター・デザイン